



“地域のことは地域で考えよう”

2015年10月28日

## おきぎん県内景況・速報 2015年9月

— 県内景況は、拡大している —

### ■個人消費

スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回る。

百貨店売上高は前年同月を上回る。

家電卸出荷額は前年同月を上回り、新車販売台数は下回る。

### ■建設関連

公共工事請負金額は前年同月を下回る。

生コン、セメントはともに前年同月を上回る。

### ■観光関連

入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数も上回る。

ホテル稼働率は、シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を上回る。ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入(推計値)も上回る。

### ■企業倒産

件数は前年同月を上回り、負債総額は下回る。

## 現場主義とお客様からの信頼

※お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

(株)おきぎん経済研究所

TEL:098-869-8711 FAX:098-869-2200

## おきぎん県内景況・速報(2015年9月分)

◎2015年9月 おきぎん「カトリア」景況図



### ◎概況：県内景況は、拡大している。

9月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月上回りました。百貨店売上高は衣料品や食料品などが好調で、前年同月上回りました。耐久消費財である家電卸出荷額は、冷蔵庫の売上増加などにより前年同月上回りました。新車販売台数は軽乗用車需要の減少などから前年同月を下回りました。

建設関連では、公共工事請負金額は、国や沖縄県発注による工事減少などで前年同月を下回りました。建設資材である生コンやセメントはともに前年同月上回りました。

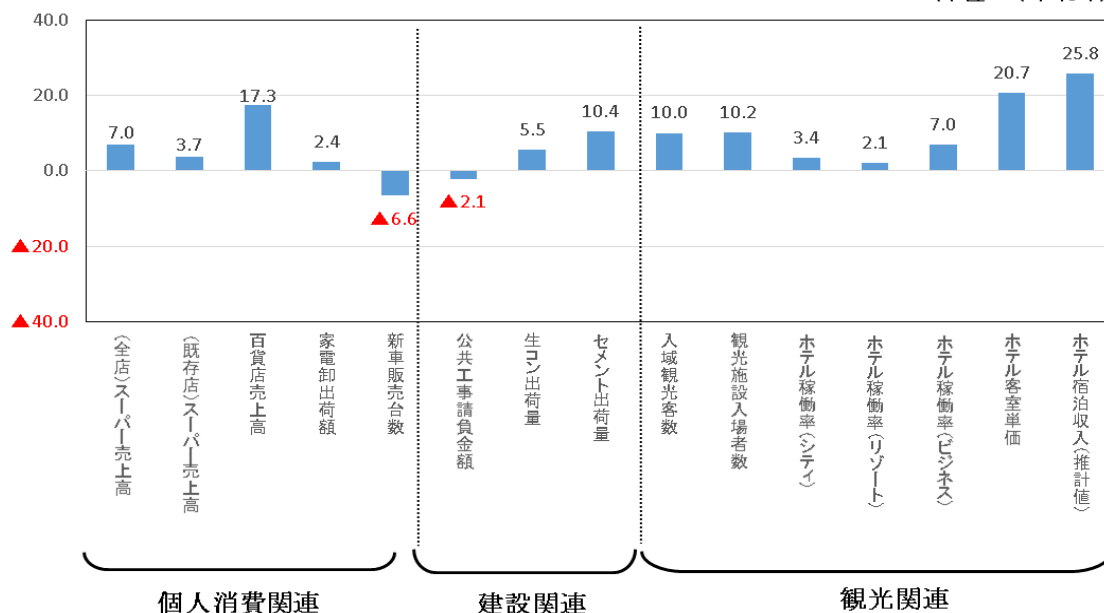
観光関連では、入域観光客数は36ヵ月連続で前年同月上回り、観光施設入場者数も前年同月上回りました。ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月上回りました。ホテル客室単価は前年同月上回り、宿泊収入(推計値)も上回りました。

このような状況に鑑みて、個人消費や建設関連が概ね堅調であり、観光関連でも好調な動きが継続していることなどから「県内景況は拡大している」と景気判断を据え置きました。

(2014年2月の上方修正後から20ヵ月連続で判断維持)

### 主要景気指標前年同月比

(単位:%、ポイント)



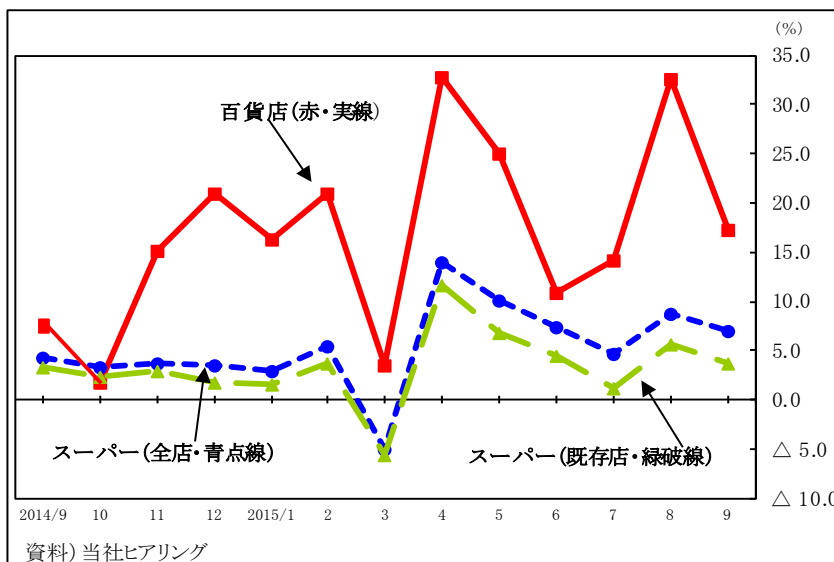


■個人消費： (やや良い)

①スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回る。百貨店売上高は前年同月を上回る。

単位：%

	スーパー売上額		百貨店 売上額
	全店	既存店	
2014/9	4.2	3.4	<b>8.8</b>
10	3.4	2.4	<b>1.7</b>
11	3.8	3.0	<b>15.2</b>
12	3.6	1.7	<b>21.0</b>
2015/1	3.0	1.5	<b>16.3</b>
2	5.4	3.8	<b>21.0</b>
3	△ 5.1	△ 5.6	<b>3.5</b>
4	13.9	11.7	<b>32.8</b>
5	10.1	6.9	<b>25.0</b>
6	7.4	4.5	<b>10.8</b>
7	4.6	1.1	<b>14.2</b>
8	8.7	5.6	<b>32.7</b>
9	7.0	3.7	<b>17.3</b>



注1) 前年同月比

注2) 百貨店売上額については、2014年9月よりサンプル数の変更に伴い8月までの数値と連続しないため、使用の際にはご注意ください。

注3) スーパー売上高(既存店)については、2015年3月、4月データの誤差調整の後、修正を行なっております。本数値を参照の際には、最新のリリース情報をご覧ください。

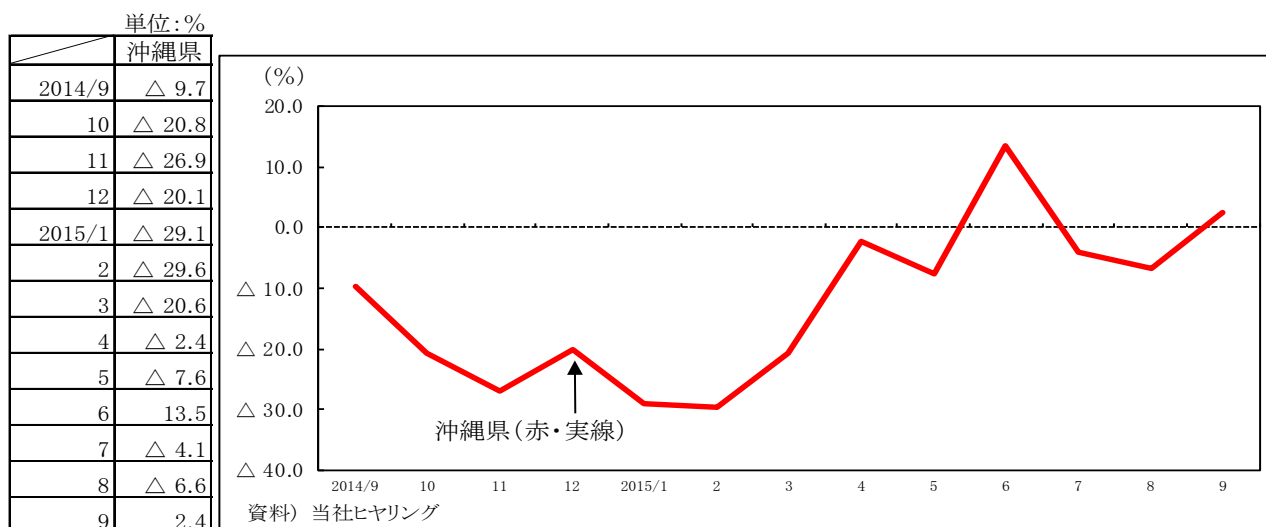
9月の個人消費関連では、**スーパー売上高**は「**全店ベース(前年同月比7.0%増)**」が6ヵ月連続で前年同月を上回りました。前年と比べて祝日が1日増えたほか、新規出店効果などによりウェイトの高い「食料品(同4.9%増)」や家電を含む「家庭用品(同14.1%増)」の売れ行きが好調で、前年同月を上回りました。

「**既存店ベース(同3.7%増)**」は店舗改装による集客効果などから、6ヵ月連続で前年同月を上回りました。品目別では、ウェイトの高い「食料品(同2.3%増)」は、青果の一部(キャベツ・レタス等)に相場高がみられるものの、生鮮(精肉・水産)の売れ行きが堅調だったことなどから、前年同月を上回りました。家電を含む「家庭用品(同8.6%増)」は訪日観光客による雑貨需要(化粧品、小物類等)の増加などから、前年同月を上回りました。また、「衣料品(同6.9%増)」は気温が低く推移したことから、秋物衣料の売れ行きが好調で、前年同月を上回りました。

**百貨店売上高\***は、前年と比べて祝日が1日増えたほか、新規催事の開催による集客効果から「衣料品」や「食料品」などの売れ行きが好調で、前年同月を上回りました(同17.3%増)。内訳をみると、ウェイトの高い「衣料品(同10.9%増)」は、主力商品である「婦人服(同9.1%増)」が、気温が低く推移したことや、カード会員企画などの販促強化から秋物商材の売れ行きが好調で、前年同月を上回りました。「食料品(同15.0%増)」は、物産展開催による集客効果や生鮮全般の売れ行きが好調だったことなどから、前年同月を上回りました。また、「雑貨(同41.8%増)」や「身の回り品(同13.6%増)」は、敬老の日のギフト需要に加えて、継続的な訪日観光客需要により売れ行きが好調で、前年同月を上回りました。

\*百貨店売上高については、2014年9月分より調査手法変更(サンプル数が異なる)に伴い、8月分までの時系列データと連続していません。ご利用の際は、その点、ご留意頂けますようお願い申し上げます。

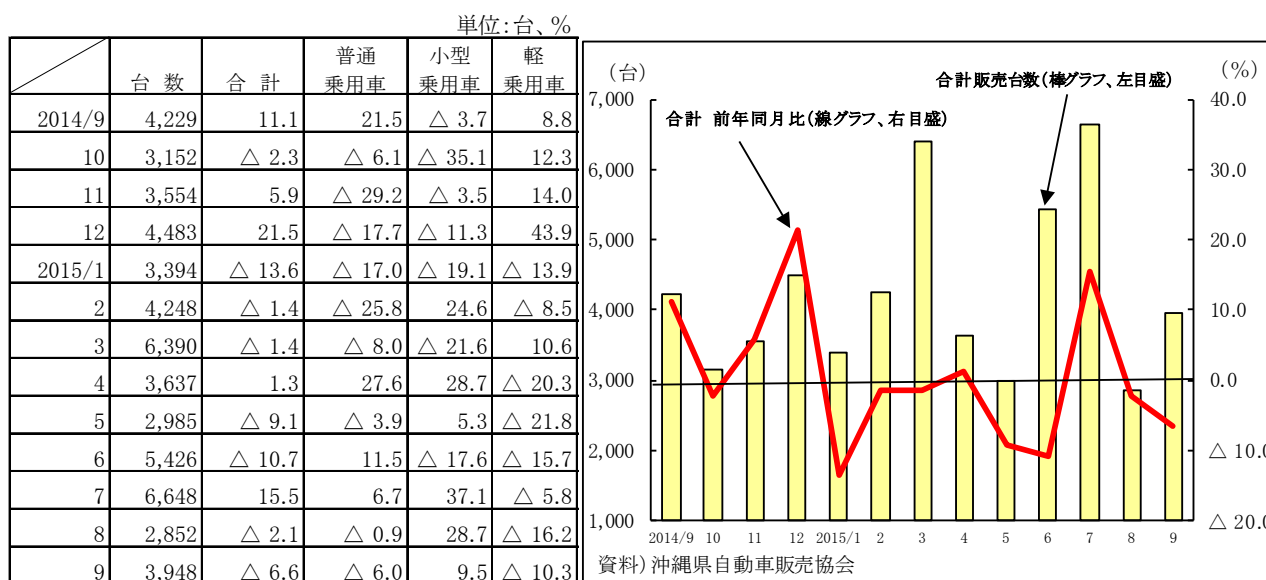
②家電卸出荷額…冷蔵庫の売上増加などにより、前年同月を上回る。



注) 前年同月比

**家電卸出荷額**は、冷蔵庫の売上増加などにより、3ヵ月ぶりに前年同月を上回りました(同 2.4%増、太陽光パネルの影響を除くと 4.2%増)。品目別では、「テレビ(同 11.8%減)」、「洗濯機(同 9.2%減)」、「エアコン(同 6.7%減)」では、旧型商品の販促効果がみられたものの、新型商品の売れ行きが低調だったことなどから、前年同月を下回りました。「太陽光パネル(同 14.0%減)」も条件付き接続の影響が続いていることから前年同月を下回りました。一方で、「冷蔵庫(同 16.5%増)」は高単価の新型商品の売れ行きが好調だったことなどから、前年同月を上回りました。

③新車販売台数…軽乗用車需要の減少などから、前年同月を下回る。



注) 前年同月比

注) 普通乗用車及び小型乗用車は登録車、軽乗用車は届出車の数値を表示。

**新車販売台数**は、全体で3,948台(同 6.6%減)となり、軽乗用車需要の減少などから2ヵ月連続で前年同月を下回りました。車種別では、「小型乗用車(同 9.5%増)」はレンタカー需要の増加などから3ヵ月連続で前年同月を上回ったものの、「軽乗用車(同 10.3%減)」は軽自動車税増税の影響が続いていることから、6ヵ月連続で前年同月を下回り、「普通乗用車(同 6.0%減)」も2ヵ月連続で下回りました。

※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。

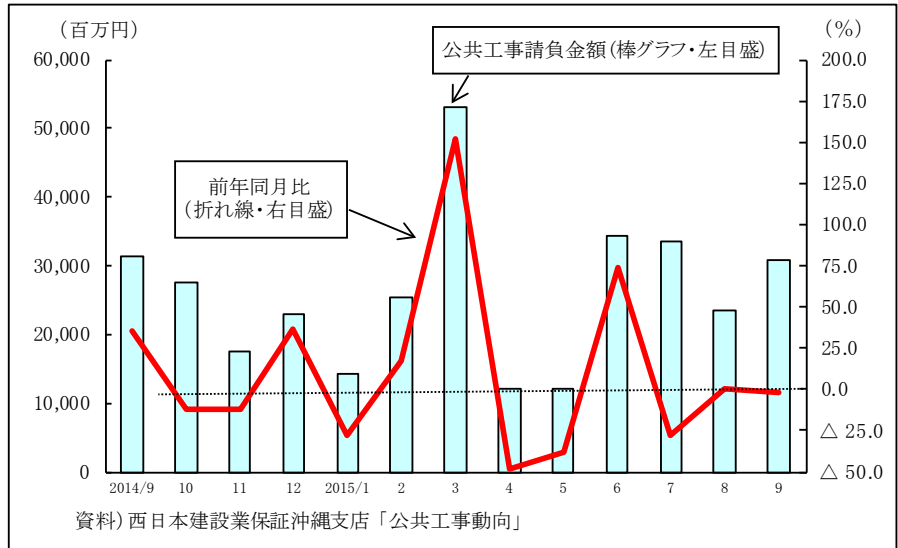


■ 建設関連: (やや良い)

①公共工事…公共工事請負金額は前年同月を下回る。

単位: 百万円、%

	請負金額	前年同月比
2014/9	31,485	35.8
10	27,642	△11.8
11	17,512	△11.9
12	22,968	36.8
2015/1	14,359	△28.4
2	25,384	17.1
3	53,096	151.7
4	11,991	△47.8
5	12,215	△37.9
6	34,358	74.0
7	33,472	△28.3
8	23,352	0.8
9	30,835	△2.1



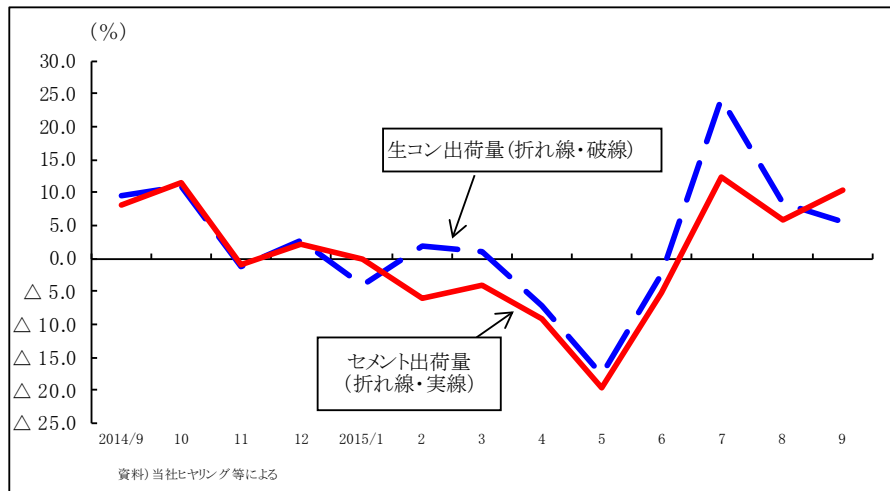
9月の公共工事請負金額は、前年同月比2.1%減の308億3,500万円となりました(2ヵ月ぶり減)。発注者別でみると、「独立行政法人等(約27倍)」は沖縄自動車道関連工事、「その他の公共的な団体(約7.3倍)」は那覇空港国際線旅客ターミナル関連工事などの大型工事で前年同月を上回りました。

一方で、「国(同30.9%減)」や「沖縄県(同11.9%減)」、「市町村(同6.9%減)」は大型工事が積み上がった前年より下回りました。

②建設資材…生コン、セメントはともに前年同月を上回る。

単位: 前年同月比 (%)

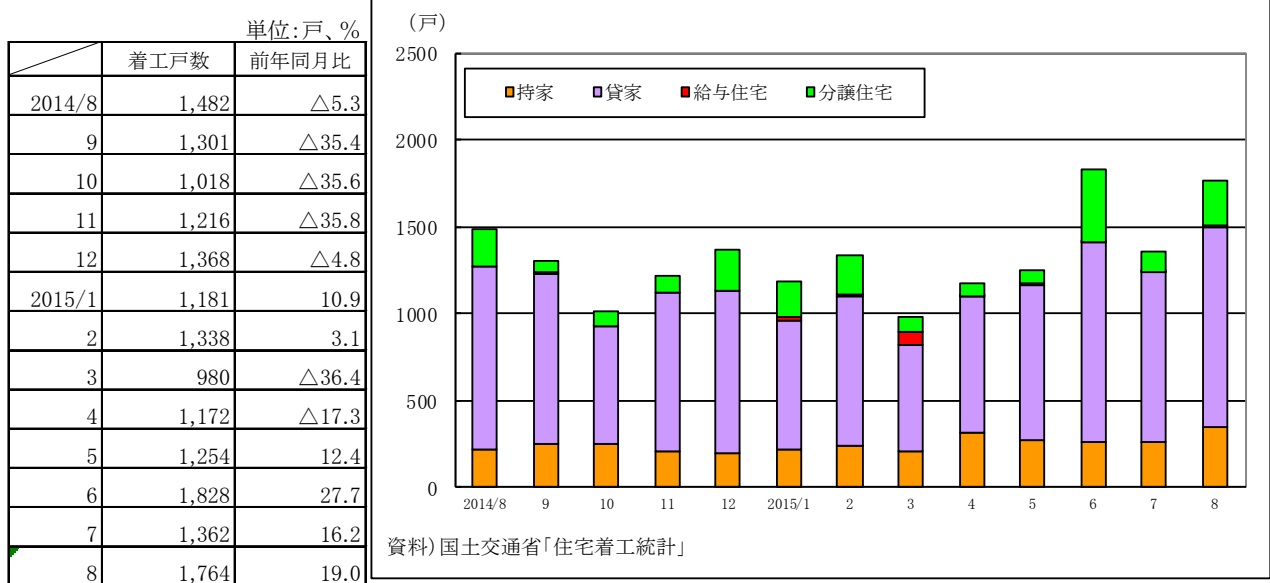
	生コン	セメント
2014/9	r 9.6	8.2
10	10.8	11.4
11	△1.3	△1.0
12	2.7	2.2
2015/1	△4.2	△0.04
2	1.7	△6.0
3	0.9	△3.9
4	△7.2	△9.3
5	△17.6	△19.6
6	△2.3	△5.3
7	24.3	12.4
8	8.4	5.9
9	5.5	10.4



(注1) セメント出荷量は、速報値につき、正確にて修正される場合がある  
(注2) 生コンデータは、9月より調査対象先を増やした為、遡及し修正している

建設資材関連では、生コンの出荷量は5.5%増加、3ヵ月連続で前年同月を上回りました。内訳では、公共工事向け出荷が前年同月より22.5%と上回り、民間工事向け出荷は4.7%下回りました。セメント出荷量も10.4%増と3ヵ月連続で前年同月を上回りました。

【参考】住宅投資(8月)…着工戸数は前年同月を上回る。



新設住宅着工戸数(8月)は、全体で前年同月比19.0%増の1,764戸と4ヵ月連続で前年同月を上回りました。利用別戸数をみると、ウエイトの高い「貸家(同9.0%増)」に加えて、「持家(同57.5%増)」なども前年同月を上回りました。

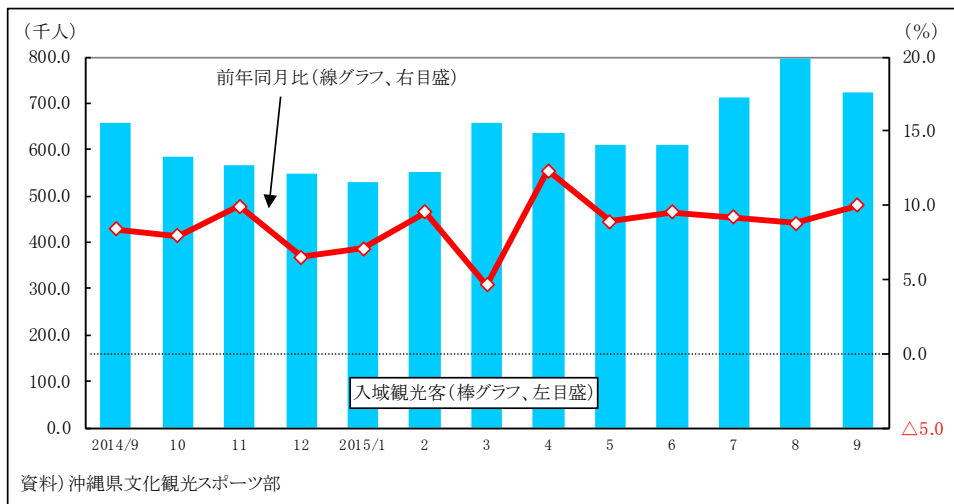


■観光関連： (良い)

①入域観光客数（国内客・外国客の合計）…36ヵ月連続で前年同月を上回る。

単位:千人、%		
	入域観光客	前年同月比
2014/9	658.7	8.4
10	586.0	7.9
11	564.5	9.9
12	549.2	6.5
2015/1	530.1	7.1
2	550.9	9.5
3	659.0	4.6
4	635.4	12.3
5	611.4	8.9
6	610.0	9.5
7	714.0	9.2
8	797.5	8.8
9	724.7	10.0

※外国客は乗務員等を含む

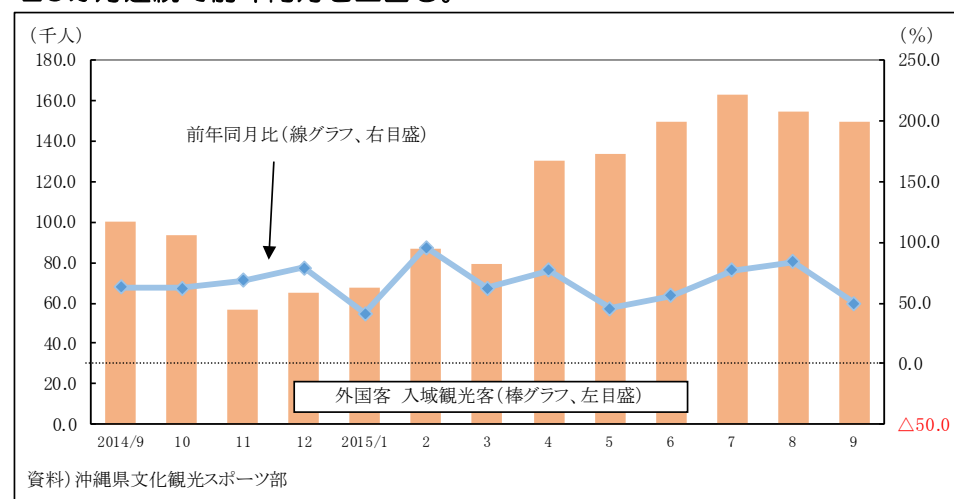


資料) 沖縄県文化観光スポーツ部

外国客 入域観光客数…26ヵ月連続で前年同月を上回る。

単位:千人、%		
	入域観光客	前年同月比
2014/9	99.9	63.2
10	93.8	62.3
11	56.4	68.4
12	64.7	78.7
2015/1	67.9	41.2
2	86.7	95.7
3	79.0	62.2
4	130.6	76.7
5	133.7	45.8
6	149.2	56.2
7	163.0	76.6
8	154.7	83.7
9	149.6	49.7

※外国客は乗務員等を含む



資料) 沖縄県文化観光スポーツ部

9月の入域観光客数は、66,000人多い724,700人(前年同月比10.0%増)となり、36ヵ月連続で前年同月を上回りました(9月としては過去最高)。

内訳をみると、「国内客(同2.9%増)」は575,100人と、一部で台風襲来(21号)の影響があったものの、シルバーウィークにおける旅行需要の高まりや航空路線の拡充等により、4ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。

他方、「外国客(同49.7%増)」は、149,600人と26ヵ月連続で前年同月を上回りました。航空路線の拡充やクルーズ船の寄港回数増加等により空路・海路ともに好調に推移したほか、中秋節の連休による旅行需要の増加も加わり、前年同月を上回りました。

「台湾(同19.1%増)」「韓国(同115.5%増=約2.2倍)」「中国本土(同166.7%増=約2.7倍)」「香港(同44.6%増)」

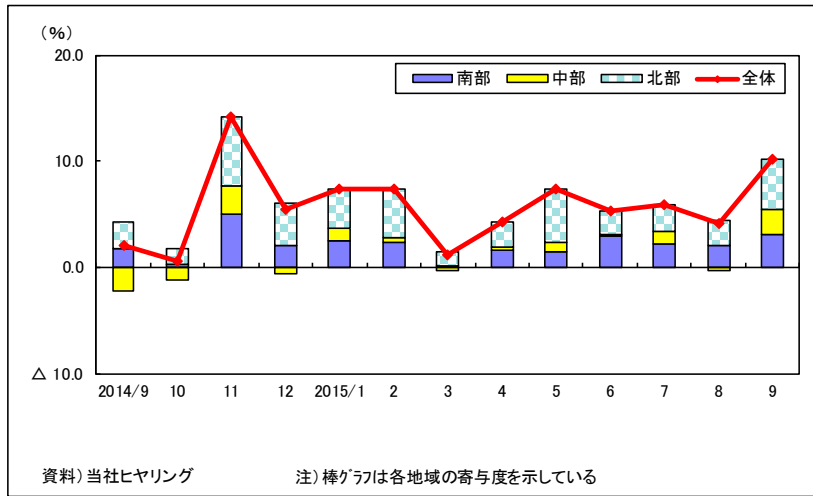
※乗務員等を除く2015年9月実績=全体707,900人(同10.0%増)、外国客132,800人(同56.8%増)、国内客は変わらない。



②観光施設入場者数…19ヵ月連続で前年同月を上回る。

	入場者数(前年同月比)			
	全体	南部	中部	北部
2014/9	2.0	5.1	△ 16.6	4.8
10	0.6	0.7	△ 8.5	3.1
11	14.2	11.7	20.0	14.9
12	5.4	4.8	△ 4.0	9.0
2015/1	7.3	6.5	8.7	7.6
2	7.4	6.2	3.1	9.5
3	1.1	0.2	△ 2.2	2.9
4	4.3	4.2	2.1	5.1
5	7.3	3.4	7.0	10.9
6	5.3	7.4	1.8	4.3
7	6.0	6.4	10.1	4.8
8	r 4.1	r 6.3	△ 2.7	4.3
9	10.2	8.7	21.4	9.0

\*調査対象施設数=南部6、中部6、北部5施設



資料) 当社ヒヤリング

注) 棒グラフは各地域の寄与度を示している

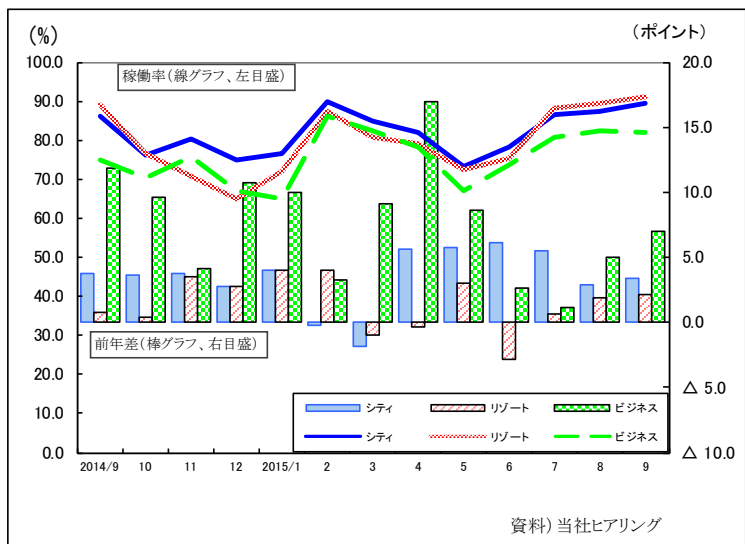
観光施設入場者数は、全体で前年同月より 10.2%増加(19ヵ月連続)しました。地域別にみると、南部にある観光施設は同 8.7%増と 23ヵ月連続、中部は同 21.4%増と 2ヵ月ぶり、北部は同 9.0%増と 19ヵ月連続で前年同月を上回りました。

③ホテル稼働率…シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を上回る。

	稼働率			前年同月差		
	シティ	リゾート	ビジネス	シティ	リゾート	ビジネス
2014/9	86.0	88.8	75.1	3.7	0.8	11.8
10	76.3	76.6	70.2	3.6	0.4	9.6
11	80.4	70.6	75.7	3.8	3.5	4.1
12	75.1	64.8	67.1	2.7	2.8	10.7
2015/1	76.4	72.0	65.1	4.0	4.0	10.0
2	89.7	87.4	86.1	△ 0.2	4.0	3.2
3	84.9	80.6	82.4	△ 1.9	△ 1.0	9.1
4	82.1	79.1	78.1	r 5.6	△ 0.4	16.9
5	73.1	72.4	67.1	5.7	3.0	8.6
6	78.2	75.3	73.6	6.1	△ 2.9	2.6
7	86.7	88.3	80.6	5.5	0.6	1.1
8	87.3	89.4	82.2	2.9	1.9	5.0
9	89.4	90.9	82.1	3.4	2.1	7.0

注)シティ10ホテル、リゾート19ホテル、ビジネス7ホテル

※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。



資料) 当社ヒヤリング

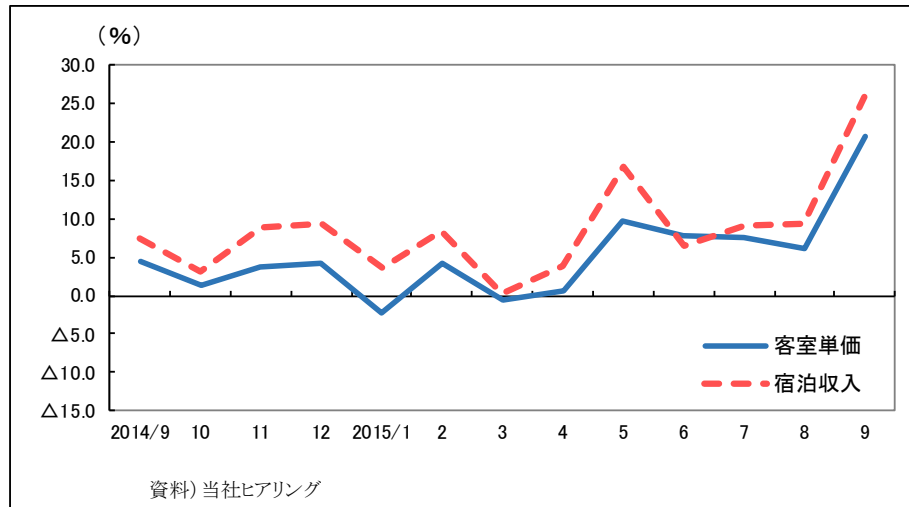
県内ホテル稼働率は、シティホテルが 89.4%と 3.4ポイント上昇(6ヵ月連続)、リゾートホテルが 90.9%と 2.1ポイント上昇(3ヵ月連続)、ビジネスホテルが 82.1%と 7.0ポイント上昇(23ヵ月連続)しました。



④ホテル客室単価・宿泊収入…客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入も上回る。

単位: %

	客室単価	宿泊収入
2014/9	r 4.4	r 7.4
10	1.4	3.2
11	3.7	9.0
12	4.3	9.4
2015/1	△2.3	3.6
2	4.1	8.5
3	△0.5	0.2
4	0.7	3.9
5	9.7	16.8
6	7.8	6.4
7	7.6	9.2
8	r 6.1	9.4
9	20.7	25.8



※対象施設数: 29施設(シティ10、リゾート19)、ビジネスは除く

※客室単価は29施設の平均値、宿泊収入は各施設の推計値の総額(稼働率及び客室単価より当社推計)

※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする

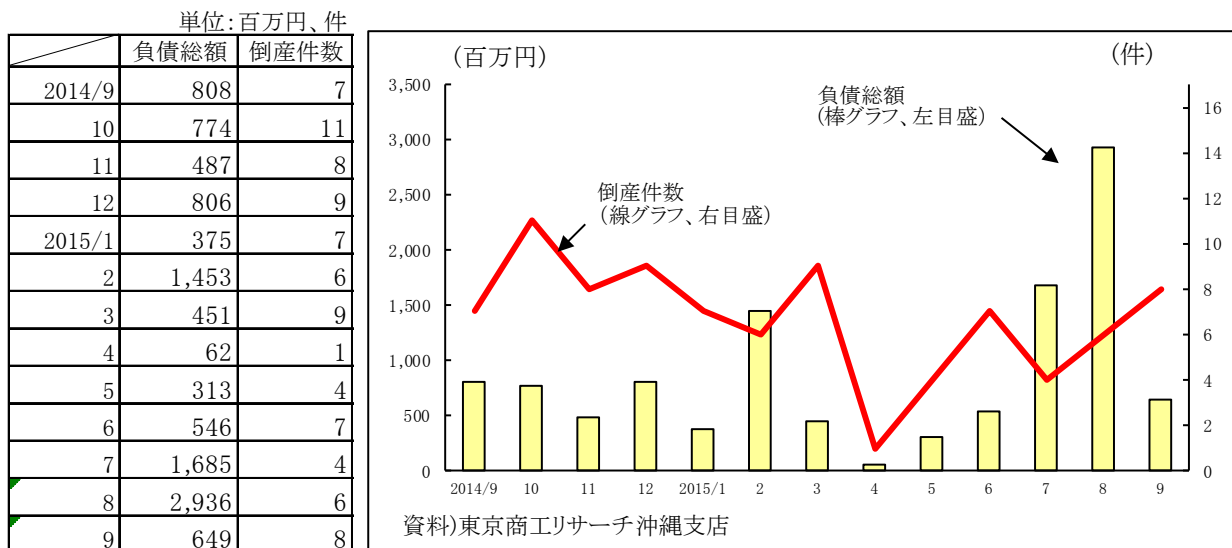
※2014年4月指標より新たに掲載

**ホテル客室単価**(シティ&リゾート)は前年同月比 20.7%増と前年同月を上回り、**宿泊収入**も同 25.8%増と前年同月を上回りました。



■企業倒産: (ふつう)

企業倒産…件数は前年同月を上回り、負債総額は下回る。

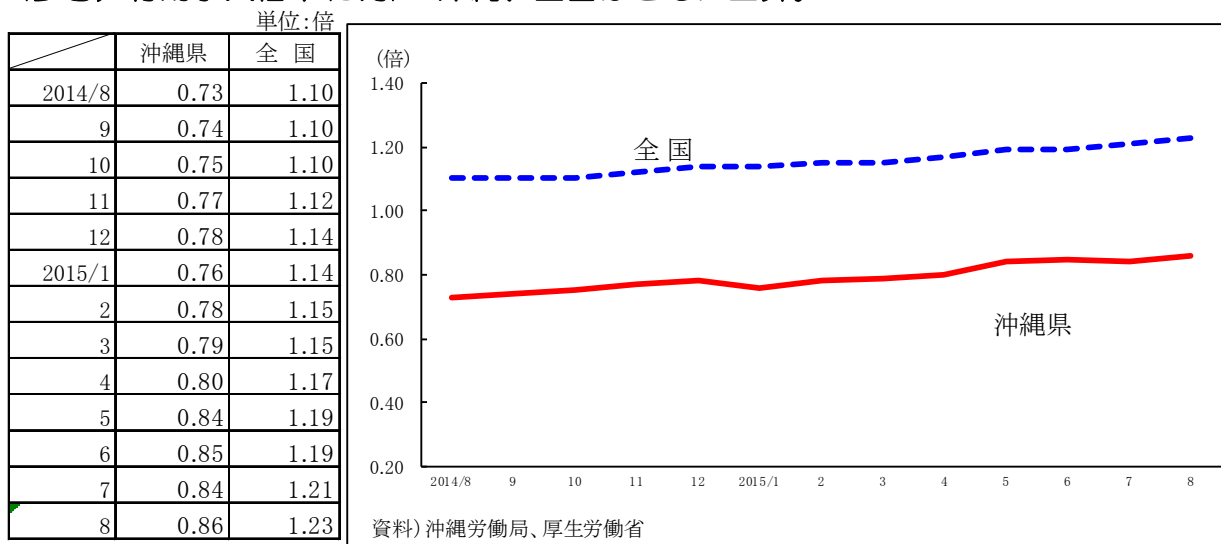


9月の**企業倒産件数**は、8件(うち、1億円以上の大口倒産は1件)発生し前年同月より1件多く、負債総額は6億4,900万円と19.7%減少しました。



【参考】雇用関連: (良い)

(参考) 有効求人倍率(8月)…沖縄、全国はともに上昇。

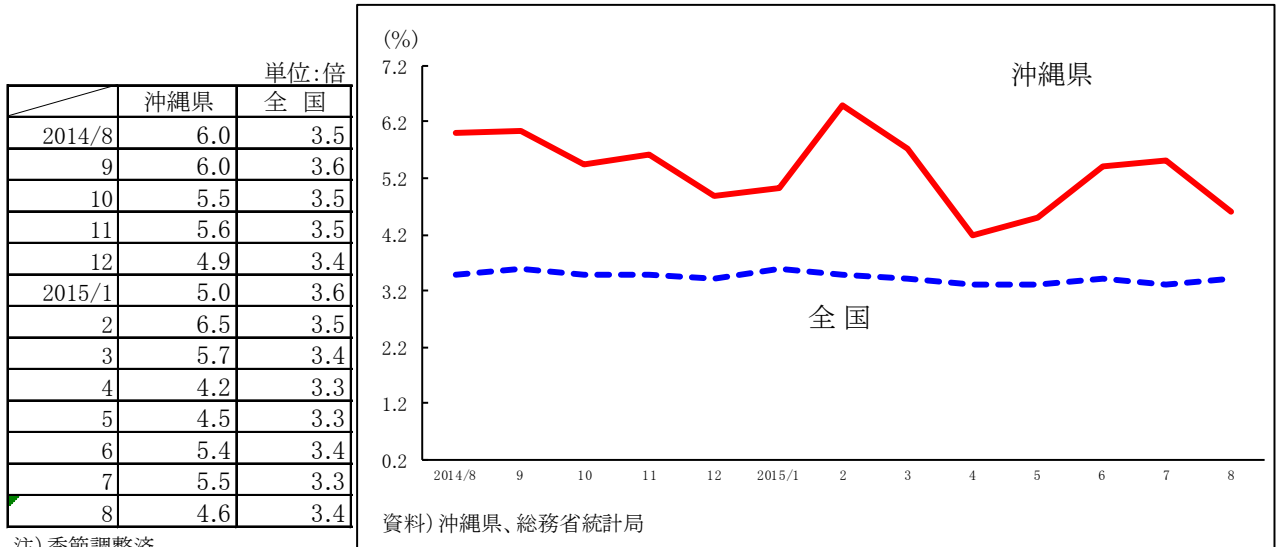


注) 季節調整済

注) 季節調整法は、センサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による

8月の**雇用状況**は、月間有効求人数(季節調整値)は前月比1.3%増の23,529人に対して、月間有効求職者数(同上)は前月と同水準の27,503人となり、有効求人倍率(季節調整値)は0.86倍となり前月より0.02ポイント上昇しました。

(参考) 完全失業率(8月)…前月より低下。



注) 季節調整済

8月の完全失業率(季節調整値)は、4.6%となり前月より0.9ポイント低下しました。